

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児発達支援学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学 期	前期	教室名	1003
担 当 教 員	植西 祐樹				
実務経験と その関連資格	<p>作業療法士として社会福祉法人にて主に肢体不自由児に関わり、国際ボイタ認定セラピスト取得。 その後、医療法人にて、訪問リハビリテーション立ち上げに関わり、小児地域リハビリテーションを実践。 その後、株式会社にて、訪問看護で地域と関わりを深めながら、大阪市エリアマネジャーとして組織マネジメントも学ぶ。</p> <p>2011年、自身で会社を立ち上げ、現在まで障害児通所支援事業を経営し、全体で計800名を超える子供らを支援。 現在も作業療法士として地域の小学校通常クラス支援、地域医療福祉連携の会運営なども行う。 大阪府士会の特別支援教育委員会所属、日本LD学会会員、日本ボイタ研究会会員。</p>				
《授業科目における学習内容》					
臨床において、医療、福祉、教育の連携の必要性は以前から言われている。障がい像がより複雑化する中、連携の必要性は必須とも言える時代と言える。連携の土台である他職種を知ること、当事者、保護者の話を聴くことでヒントを得る。					
《成績評価の方法と基準》					
各回の感想文の提出内容					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
特になし					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	講師と生徒の自己紹介と1年の流れ			
	各コマに おける 授業予定	フリー			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	こころを評価するとは？を知る。			
	各コマに おける 授業予定	こどもの心理について			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	他職種を知り、連携のヒントにする。			
	各コマに おける 授業予定	心理士のトリセツ 【ゲスト:公認・臨床心理士】			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	他職種を知り、連携のヒントにする。			
	各コマに おける 授業予定	SSWのトリセツ 【ゲスト:スクールソーシャルワーカー】			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	他職種を知り、連携のヒントにする。			
	各コマに おける 授業予定	地域の医師のトリセツ 【ゲスト:小児科医】			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	他職種を知り、連携のヒントにする。		
	各コマにおける授業予定	精神保健福祉士のトリセツ【ゲスト:精神保健福祉士】		
第7回	授業を通じての到達目標	他職種を知り、連携のヒントにする。		
	各コマにおける授業予定	精神科作業療法士のトリセツ【ゲスト:精神科訪問看護ST所長OT】		
第8回	授業を通じての到達目標	他職種を知り、連携のヒントにする。		
	各コマにおける授業予定	地域の言語聴覚士のトリセツ【ゲスト:児童デイの言語聴覚士】		
第9回	授業を通じての到達目標	保護者の心理、想いを知り、支援のヒントにする。		
	各コマにおける授業予定	【ゲスト:重症心身障がい児の保護者】		
第10回	授業を通じての到達目標	当事者の話を聞き、支援のヒントにする。		
	各コマにおける授業予定	【ゲスト:全盲の起業家】		
第11回	授業を通じての到達目標	保護者の心理、想いを知り、支援のヒントにする。		
	各コマにおける授業予定	【ゲスト:発達障がい児の保護者】		
第12回	授業を通じての到達目標	他職種を知り、連携のヒントにする。		
	各コマにおける授業予定	地域の小学校教員のトリセツ【ゲスト:小学校教員】		
第13回	授業を通じての到達目標	他職種を知り、連携のヒントにする。		
	各コマにおける授業予定	地域の理学療法士のトリセツ【ゲスト:訪問看護STの理学療法士】		
第14回	授業を通じての到達目標	当事者の話を聞き、支援のヒントにする。		
	各コマにおける授業予定	【ゲスト:発達障がいの当事者】		
第15回	授業を通じての到達目標	これまでのまとめを行い、後期の授業につなげる。		
	各コマにおける授業予定	まとめ		